

Welcome Back to the Office Program

# Cheers for Work, Cheers for Life

COVID-19は私たちに改めて「オフィスとは何か」と問いかけるきっかけとなりました。

多くの企業が、社員や社員の家族の健康・安全の確保のために、また経済活動と社会的責任を両立させるために、準備期間も十分に取れないままに新たな働き方への挑戦を余儀なくされたことと思います。

そして今、それぞれの新しい「働き方」、それを支えるオフィスの新しい「あるべき姿」を模索している企業が数多くあると私たちは考えています。

今までもそうであったように、これからも私たちはお客様と共にオフィスの可能性を追求し、共に「あるべき姿」を見つけ、少しでもその姿を現実のものとするよう、寄り添っていただくと願っています。

# コロナの時代にも変わらずに、ますます重要性を増すミダスの設計スタンス

## WORKSTYLE

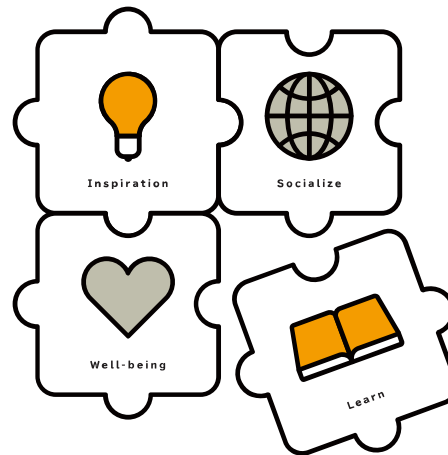
Co-creation of workstyle



オフィス環境は経営ツールになります。ミダスは、働き方の現状と目指す姿を調査・分析し、ワークスタイルのより良いビジョンを策定します。そして、理想の働き方をクライアントと考え、ワーカーのオフィスへの意識を変えていくお手伝いをします。

## WORKPLACE

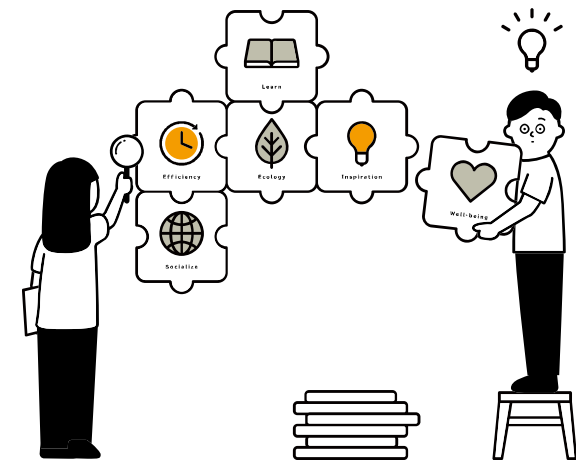
Establishing places for bonding workers



オフィスに必要なのは、ワーカーがコミュニケーションしやすい「場」です。そこから生まれる質の高いコラボレーションが、新たなイノベーションを創造します。ミダスは、人と人、人と情報、人とテクノロジーをつなぐ場=ワークプレイスをつくります。

## CHANGE MANAGEMENT

Making sustainable evolution



ワーカーが新しい環境を使いこなし、理想の働き方をすることがゴールです。チェンジマネジメントは、ハード・ソフト両面から継続的なワークスタイルの進化を促すための心強いツールとなります。

# 0/GENERAL PROCESS

今あるオフィスの中で、どのような対策を講じていくことが社員の安全に繋がるかを共に検討し、実施へと導いていきます。



## 対策メニューの確認

想定される働き方、オペレーションを確認しながら、採用すべきメニューを検討し、優先順位を決めていきます。



## スケジュールの策定

優先順位を考慮しつつ、実現に向けてのスケジュール策定します。



## 予算の策定

採用検討のための予算を策定します。



## レイアウトの検証

採用検討している内容をレイアウト上反映させ、働き方・オペレーションに与える可能性がある影響を確認します。



## 実施

日常のオペレーションに出来るだけ影響がないよう留意しながら、必要な工事を監理し、スムーズなお引渡しへと繋げていきます。

# 1/WORKSTYLE

Withコロナの状況下での働き方について、アンケートを含めた調査を実施。新しい気付きや課題をつまびらかに。  
Withコロナ及びPostコロナの新しい「働き方」、新しいオフィスの「あるべき姿」をより深く掘り下げ、  
改修・移転等のプロジェクトへと繋がります。

## 現状把握

働き方のデータ分析

- ・ 満足度調査
- ・ アクティビティ調査
- ・ 近接要望調査



## 将来像模索

あるべき姿の確認

- ・ インタビュー調査
- ・ 企業文化調査
- ・ 行動パターン調査



+

=

## オフィス条件

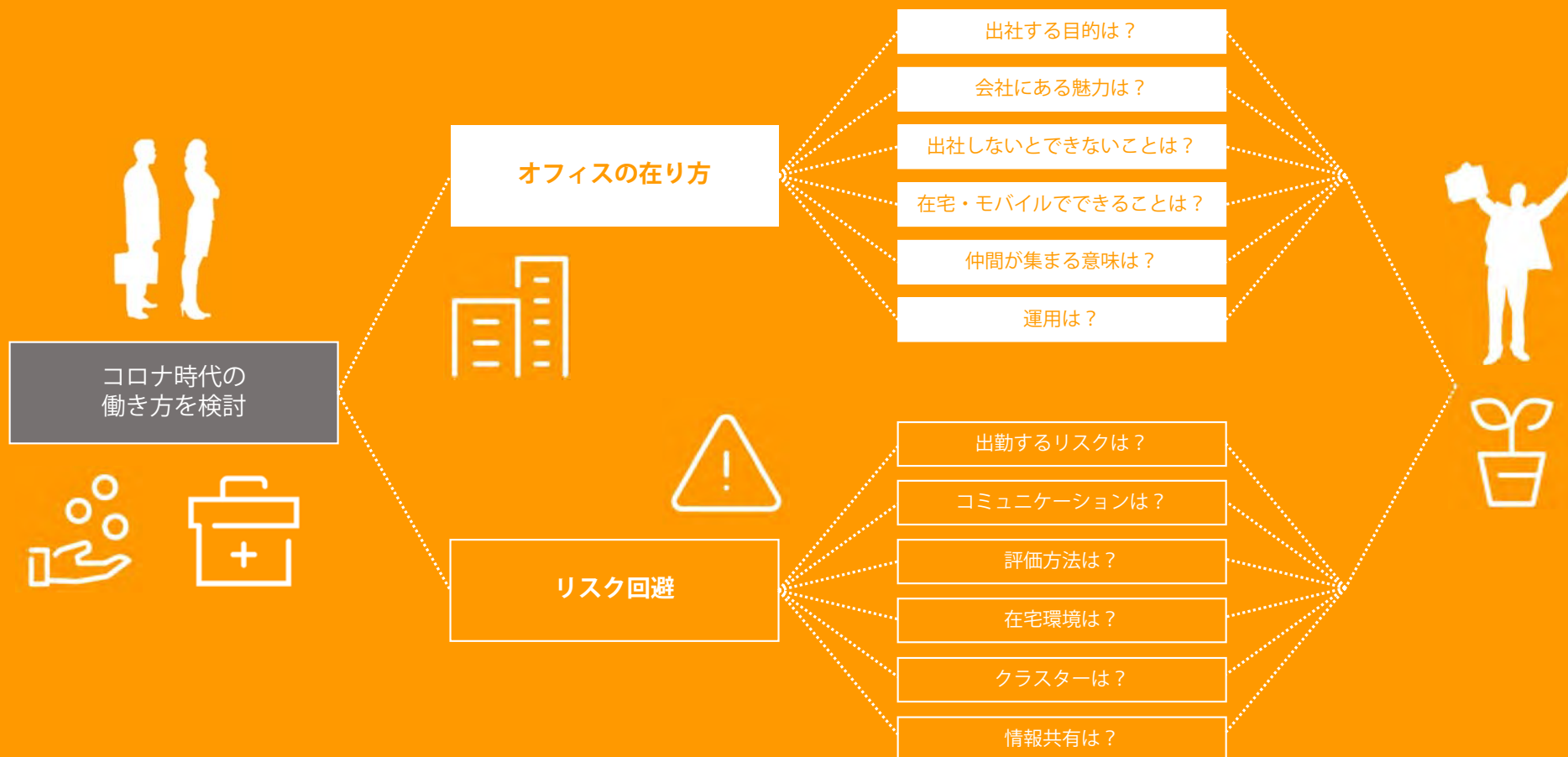
プロジェクトコンセプト策定

- ・ プロジェクト要件
- ・ デザインの方向性
- ・ デザイン与件



# 1/WORKSTYLE

Withコロナ及びPostコロナにおける働き方を考える上で、オフィスの在り方やリスク回避といった視点ごとに項目を抽出し、それらを丹念に検討するかたちでオフィスのあるべき姿を模索いたします。



# 1/WORKSTYLE

オフィスで働くこと、在宅で働くことにはそれぞれメリットとデメリットが存在します。  
オフィスでやりたいこと、やるべきことを明確にしなが、お客様に最も適したソリューションを提供するために解を探ります。

(ex.)

	できること	メリット	デメリット
会社	大量枚数のプリント・コピー 伝票処理 大型郵便物の手配・取り寄せ Face to Faceのコミュニケーション	手軽で迅速なコミュニケーション 大型郵便物の確認・手配 メンバーの業務状況が見える	通勤時間 ※ 3密 感染確率が上がる
在宅	PC上での資料作成 社内会議 クライアント会議 協力会社との会議 アプリ経由による申請等 チーム内での協力依頼・受取 小物宅配物取り寄せ	会社の光熱費が減る 自分のペースで進められる 集中作業を邪魔されない	健康管理、孤独感 コミュニケーション遅延 メンバーの業務状況が見えづらい 教育、成長が見えづらい 光熱費、業務環境 評価基準

※在宅勤務に求められるスキル

自発的に進めることができる  
発信、共有することができる  
スピードがある対応力  
スケジュール管理能力

# 2/WORKPLACE

Withコロナの状況の中で「働く」の意味が見直され、オフィスは再構築を余儀なくされています。  
ワークスタイルの見直しで検討された在宅勤務とのバランスを考慮しながら、オフィスの「あるべき姿」を構築してゆきます。

## TODAY

- オフィスの人員密度を下げる（在宅推奨）
- ソーシャルディスタンスに基づく着席
- 飛沫感染防止のためのバリアを追加する
- マスク着用徹底
- 手洗い・うがいの徹底
- 定期的なクリーニング

## TOMORROW

- 個人・少人数使用に特化したワークスペース
- 共有スペースへの空間配分振り替え
- ソーシャルディスタンスを意識した空間構成
- 動線コントロールのための視覚的なサイン計画
- 清掃しやすく、耐薬品性能を有する素材の選択
- スケールに合わせたミーティングツール拡充
- スタッフの健康ケアのための仕組み

## FUTURE

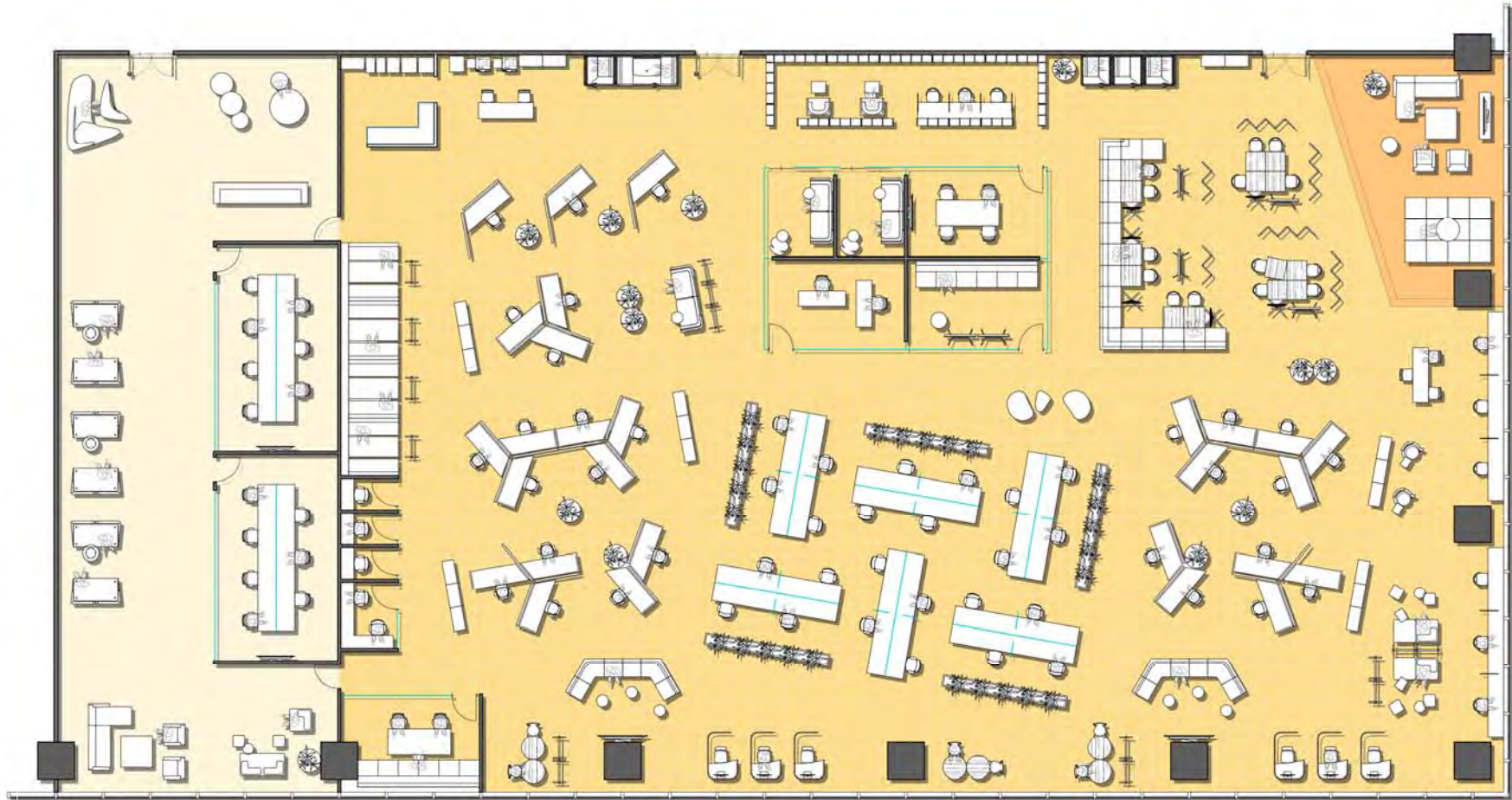
- フレキシビリティの高い空間構築
- ハンズフリーな設計
- 安心して安全に働けるスペース
- リモート環境によるルールなど策定
- コミュニティを維持する仕掛け



# 2/WORKPLACE

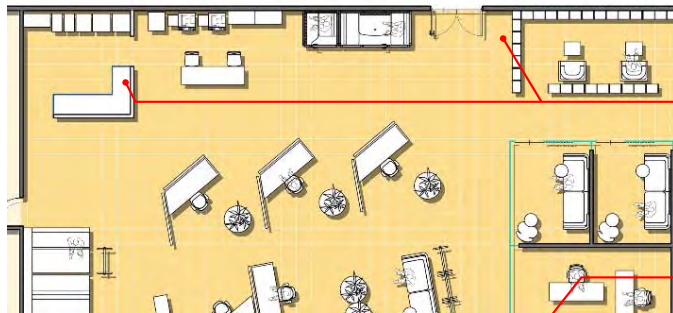
Withコロナ及びPostコロナのオフィスデザインを考慮するときに重要なポイントは下記の4項目になります。

- A : 飛沫感染を予防するためにパネルやスクリーンを設置し、医療ステーションを設ける
- B : ソーシャルディスタンスに配慮した空間構成や運用に変更する
- C : オフィス内での人員密度を下げる工夫を運用含め実施する
- D : フレキシブルで柔軟な運用に対応するために可動式家具を活用する



# 2/WORKPLACE

A：飛沫感染を予防するためにパネルやスクリーンを設置し、医療ステーションを設ける



## A-1

入口付近に検温器・消毒液・清掃ツール等を集約し医療ステーションとして機能させることで感染リスクを低減させます。



## A-2

コラボレーションエリアやラウンジエリアに可能な限り可動式スクリーンを設置します。



## A-3

各個人用デスクは飛沫感染防止用のローパーティションで覆います。



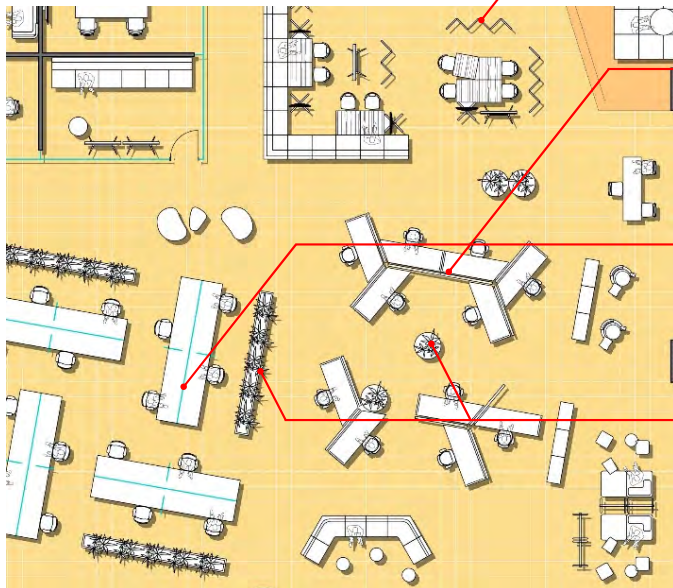
## A-4

島型対向デスクなどオープン感を大事にしたいエリアではデスクトップにアクリルパネルを設置します。



## A-5

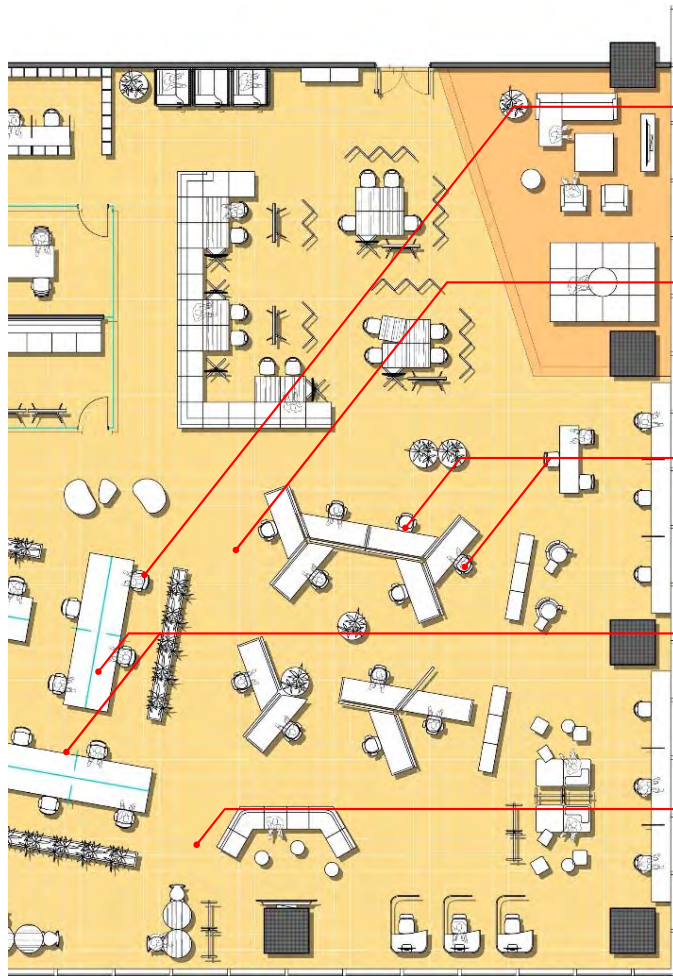
植栽を効果的に配置し、防波堤の役割を担わせることで飛沫感染を予防します。





# 2/WORKPLACE

## B：ソーシャルディスタンスに配慮した空間構成や運用に変更する



### B-1

ワーカーとワーカーの離隔距離2mを意識してレイアウトし、飛沫感染を防止します。



### B-2

主要動線幅を2m程度確保します。



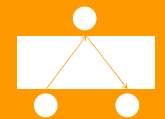
### B-3

着座方向に変化をつけ、ワーカー同士が真正面に対面し合わないよう工夫します。



### B-4

島型対向デスクを用いる場合は、ワーカー同士が真正面に対面しあわないよう対角配置にし、島を90度振る等の工夫をします。



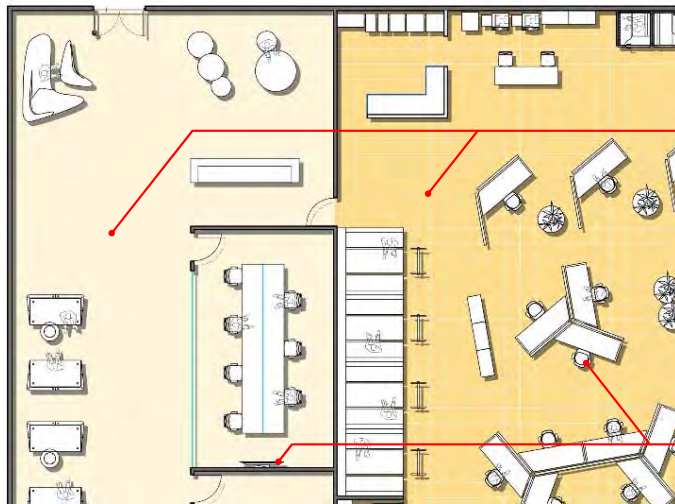
### B-5

すれ違いが起きる頻度を下げするために、回遊動線を盛り込み、サインや運用規範で歩行方向をコントロールします。



# 2/WORKPLACE

## C: オフィス内での人員密度を下げる工夫を運用含め実施する [オンライン会議などを想定したコミュニケーションツールの活用]



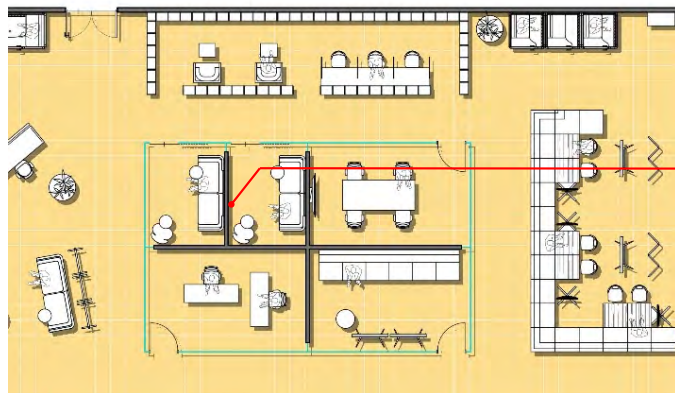
### C-1

いわゆる3密の状態をつくり出さないようにするためにオープンスペースを中心にゆったりとした空間配分に再構成し、会議室数や家具類の配置数等を見直します。



### C-2

出社したワーカーと在宅勤務者のコミュニケーションを円滑に行えるツールを拡充します。  
(例: 会議室には必ずモニターを設置する)  
(例: ノートPC&オンライン会議アプリの配布)



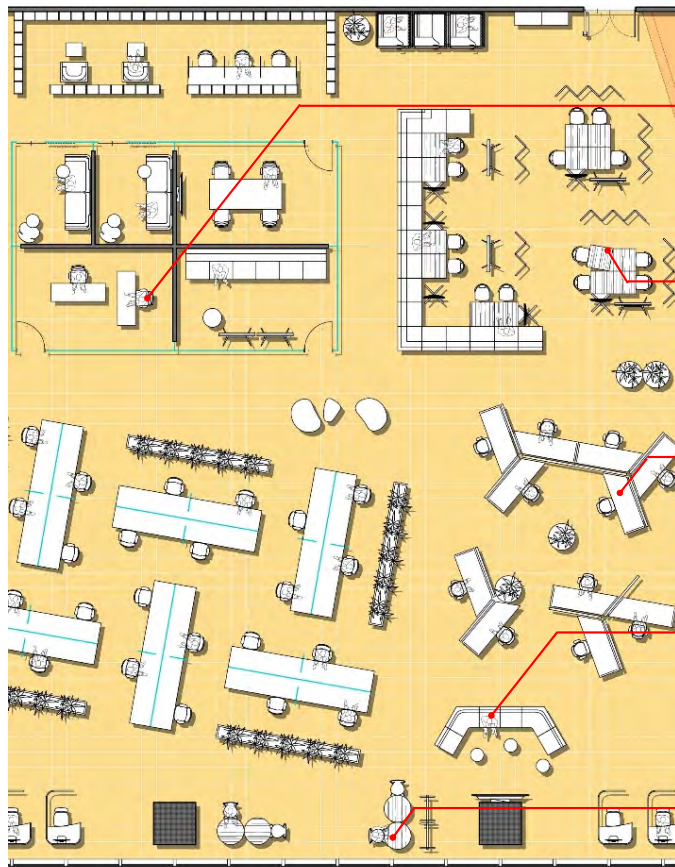
### C-3

会議室の一部に間仕切りを追加して改造し、小規模なミーティングや集中作業を行える空間を充実させます。



# 2/WORKPLACE

## D：フレキシブルで柔軟な運用に対応するために可動式家具を活用する



### D-1

キャスター付きテーブルとイスの組み合わせでフレキシブルな運用に対応させます。



### D-2

可動式テーブルと可動ローパーティションの組み合わせで、囲われ感のあるセミクローズドな空間を瞬時に出現可能のようにします。



### D-3

個人用デスクも可動式にすることが可能です。気分に応じて集中しやすい角度やグループワークしやすい角度に迅速に変更が可能となります。



### D-4

ラウンジ席を可動式にすることで、人数が増えてきたらすぐに席を離したりといった運用が可能です。



### D-5

オープンミーティング席も可動式のホワイトボードを衝立かわりに使用する等、自由に配置が工夫できます。



# 3/CHANGE MANAGEMENT

新しいワークプレイス戦略の実現には、そこで働くワーカーが変化を受け入れ、行動を変える必要があります。チェンジマネジメントサービスにより、ワーカーの働き方が新しいワークプレイス戦略に合致するよう、「人」への影響という観点で支援します。

## チェンジマネジメントの目的



ROIとサステナビリティ向上支援



ビジネスの混乱を最小化



企業文化の変革  
DXの促進



抵抗をマネジメント

## チェンジマネジメントで支援するワークプレイスの変革

### 1 ハイブリッドオフィスの推進



オフィス中心の働き方

テレワークの併用

### 2 ABW with コロナ



従来のオフィス環境

ABW with コロナ

### 3 DXの推進



アナログなプロセス

デジタル化の推進

### 4 リモートコラボレーションの推進



対面コミュニケーション

リモートの促進

Copyright (C) 2020 Midas Company Ltd. All Rights Reserved.

この提案書に含まれる素材（文字、写真、イラスト及びCG等を指す）に関する所有権、知的財産権、肖像権、パブリシティ権等の一切の権利は、弊社又は当該権利を有する第三者に帰属します。クライアント様は、コンテンツ素材について一切の権利を取得することはないものとし、弊社又は当該権利を有する第三者の許可なく一切の権利を侵害する行為をしてはならないものとします。

All property rights, intellectual property, image rights and publicity rights reserved by Midas and third parties for the material contained in this proposal, including texts, photos, illustrations and computer graphics.

Client will not use these contents without prior authorization from Midas or the third party concerned, which would constitute a right infraction.